

平成30年度 岩沼市環境白書 概要版

岩沼の環境

岩沼市では、岩沼らしさを感じる良好な環境を千年先の世代にまでつなげる決意を表し、「未来の子どもたちへ 豊かな環境を引き継ぐために」を取組みの姿勢として掲げ、市民や事業者の皆様との連携・協働によって環境の保全及び創造に向けた取組みを進めています。



【写真：花や木ネットワーク植栽事業】

○岩沼市では「岩沼市環境基本計画」に基づき、良好な環境の保全と創造に向けた取組を進めています。

「岩沼市環境基本計画」（平成28年3月策定）について

1. 計画の基本的考え方

■ 計画策定の背景と目的

岩沼市は、西部の丘陵部から東部の太平洋に至るまでなだらかに平野が広がり、南部には阿武隈川が流れるなど豊かな自然環境に恵まれています。しかし、近年では宅地開発などの影響から身近な自然が少なくなるなど、生活環境における課題が見受けられるようになりました。さらに、平成23年に発生した東日本大震災による沿岸部の集落の壊滅的被害や災害廃棄物の処理、放射線影響対策、生活・自然環境への影響など、深刻かつ重要な課題に直面しています。

このため、本市では、震災からの復興を進めながらより良好な環境を創造していくことが求められています。本計画は、本市を取り巻く様々な環境の変化などを踏まえて、長期的な目標と施策の方向などを示すとともに、市・市民・事業者の各主体の自主的行動と協働によって、これらを総合的・計画的に推進するものです。

■ 計画の位置づけ

本計画は、総合計画である「いわぬま未来構想」や東日本大震災からの復興の方向性を示した「岩沼市震災復興計画」における環境関連分野の施策を推進する役割を担います。

また、環境分野の最上位計画として、他の個別計画との連携・調整を図るとともに、各種施策や事業の指針となるものです。



■ 計画の主体

本計画の主体は、市・市民・事業者を対象とします。本計画では、各主体が実施すべき取組をより具体的に示しています。

■ 計画期間・目標年次

本計画の計画期間は、平成28年度からの10年間とし、目標年次は平成37年度とします。なお、社会情勢の変化や計画の進捗状況などを踏まえて、必要に応じて適宜見直すこととします。

2. 岩沼市の環境の現況と課題

■ 快適環境

本市では、東日本大震災により一時的に緑が減少しましたが、千年希望の丘が整備されることで緑地が大幅に増加することから、自然とふれあえる身近な緑の活用が期待されています。また、本市には歴史的・文化的な資源が多く、環境美化活動に対する意識が高いなどの特徴があることから、親しみを感じる遺産や景観の保全と創造に努めていく必要があります。

■ 自然環境

本市には多様な自然環境が存在し、その中で多くの生物の命が育まれています。一方で、森林や農地は減少傾向にあり、これに伴う多くの生物の生息・生育環境の減少が危惧されています。また、復興事業による土砂採取を目的とする森林開発が進められ、環境への影響が懸念されています。私たちは、自然の保護・保全に高い関心を持って、自然とのふれあいや活用を大切にし、環境の保全に取り組むことが求められます。

■ 生活環境

本市の生活環境は概ね良好な状態にありますが、一部に環境基準が未達成な環境項目もあるため、これらを改善し良好な生活環境を維持していく必要があります。また、有害化学物質などの新たな環境問題に広範に取り組むためには、環境情報を適切に把握し迅速に対応することが求められます。

■ 資源循環

本市では、東日本大震災以降ごみの排出量の増加やリサイクル率の低下が見られるため、ごみの排出抑制に取り組むとともに、3Rを積極的に推進していく必要があります。このため、新ごみ処理施設の稼働を契機として、日常生活や事業活動においてごみの減量化に取り組むことや、地域団体と連携したリサイクル運動を推進することが求められます。

■ 地球環境

本市の二酸化炭素排出量は、東日本大震災以降増加に転じており、市民の一人ひとり、事業者のそれぞれが、省エネ省エネ行動を実践することや再生可能エネルギーの導入を進めるなど、地域から地球環境へ貢献するという視点で取り組むことが必要です。

■ 市民・事業者の活動

本市は、市民の環境保全活動への参加意識が高いため、活動機会が増えることで多くの市民が率先して活動に参加することが期待されます。また、環境の保全と創造に向けた自主的な活動を進めるため、市・市民・事業者や各団体が、相互の理解を図り地域に根ざした活動を継続して行えるよう団体のネットワークづくりを進めることも必要です。このように、市民・事業者の活発な活動を通じて、環境と共生する社会を醸成していくことが求められます。

3. 計画の構成

環境像：恵み豊かな環境を持続的に享受できるまち

取組の
姿勢

基本目標

環境指標

未来の子どもたちへ

豊かな環境を

引き継ぐために

基本目標 1
快適な環境の創造

- 市民一人当たりの公園面積
- 花や木のまちづくり団体数

基本目標 2
豊かな自然環境の保全

- 山林の面積
- グリーンピア岩沼の自然にふれるイベント数

基本目標 3
安全な生活環境の確保

- 河川BOD環境基準の達成度
- 公共下水道の普及率

基本目標 4
循環型社会の構築

- 一人1日当たりのごみ排出量
- リサイクル登録団体数

基本目標 5
地球環境問題への貢献

- 環境配慮型事業者の認定数
- 市民バス年間利用者数

基本目標 6
環境共生社会の醸成

- 環境保全活動団体登録数
- 「早朝クリーンいわぬま」の参加者数

リーディング・プロジェクト

プロジェクト1
「市民みんながエコパートナー」

環境分野

施策・取組の方向性

身近な緑

- 千年希望の丘の整備、公園や緑地の維持・管理
- 公共施設や民有地の緑化、河川などの親水空間の整備の推進

景観

- 既存の良好な景観の保全、地域の特性を活かした景観の形成
- 環境美化活動による景観づくりへの意識の高揚の促進

歴史・文化

- 歴史的・文化的遺産の保全や継承
- 歴史・文化にふれる取組や遺産を活かしたまちづくりの推進

森林・農地・河川

- 適正な維持・管理による森林・農地の保全
- 多様な環境保全機能の維持による河川の保全

生物多様性

- 野生生物の適正な保全・管理
- 生息・生育環境を保全する取組の推進

大気質

- 発生源への指導、監視体制の充実
- 自動車交通からの環境負荷の低減

騒音・振動

- 自動車交通による騒音・振動の低減
- 工場・事業場への指導、空港など関係機関への要望

水環境

- 公共下水道の整備
- 事業者への指導や家庭での生活排水対策の促進

その他の生活環境

- 化学物質対策の推進
- 市民の不安解消に向けた放射能測定の継続

廃棄物

- ごみの適正処理の推進
- ごみの発生抑制の推進、不法投棄の防止

リサイクル

- 再利用、再生利用の意識啓発
- 資源回収、再資源化の推進

地球温暖化

- 日常生活や事業活動からの二酸化炭素の排出抑制の普及・啓発
- 市の「地球温暖化対策実行計画」の推進

エネルギー

- 省エネルギーの取組の促進
- 再生可能エネルギーの導入促進

環境教育・環境学習

- 学校教育を通じた環境教育の推進
- 地域における環境学習の推進

環境保全活動

- 環境保全活動の促進
- 環境保全活動に係る人材の育成

プロジェクト2
「もったいない！ごみ減量化」

プロジェクト3
「地域から地球を守ろう」

基本目標 1 快適な環境の創造

身近な自然とふれあう機会の充実や親しみを感じる景観などの保全を推進することにより、「快適な環境の創造」を目指します。

1. 「千年希望の丘整備事業」 大規模な植樹活動を進めています。

～自然との調和を図り、海岸エリアを再生～

一時避難所となる「丘」15基と丘と丘をつなぐ「緑の堤防」を約10kmにわたり整備する計画です。平成29年度までに14基の丘と9.6kmの園路が完成し、平成30年度は、藤曽根地区の園路の延伸を進めています。

【植樹祭への参加人数】

○ 4,000人
(平成29年度開催分)

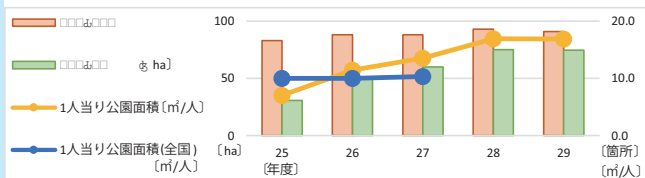
【植樹の累計本数】

○ 28.8万本
(平成29年度まで)



(写真：植樹祭の様子)

【市民1人当たりの公園面積】 16.9㎡ (平成29年度)



3. 地域で自主的におこなわれる 清掃活動・美化活動を支援します。

町内会や事業所、ボランティア団体が自主的に行っている公園、道路などの地域清掃活動や地域美化活動、側溝清掃に対してごみ袋の配布やごみの収集や支援をしています。

～地域の側溝清掃活動～

側溝清掃など地域の自主的な活動が行われています。

市では土のう袋の提供のほか、一定の要件を満たす団体に報償金を交付しています。



(写真：回収された側溝汚泥)

【側溝汚泥の回収量】

○ 30.7t (平成29年度)

「岩沼市飼い犬のふんの 放置の防止に関する条例」

市では、清潔で美しいまちづくりを推進し、快適な環境を保持するための条例を定め、環境美化意識の高揚を図っています。愛犬のふんは必ず持ち帰りましょう！

(啓発看板・チラシを無料で配布しています)

～生活環境課窓口へ～



2. 「花や木ネットワーク植栽事業」 緑化活動を支援・取組の輪を広げます。

～花や木ネットワーク～

花や木のまちを創る岩沼市民ネットワークは、春と秋、会員へ花苗の配布とモデル地区(市内3箇所)での植栽を実施しています。

【登録団体数】

○ 59団体 (平成29年度)

【平成29年度実績】

○ 配布：13,000本
(サルビア・パンジー)

○ 植栽：7,200本
(マリーゴールド・ペコニア・ビオラ)



(写真：市民会館周辺の植栽活動)

～参加団体を募集しています～

こんな方にオススメ！！

- 地域の方と交流しながら植栽を楽しみたい。
- 子ども会の活動で使用する花苗を調達したい。
- お店の前を彩りたい。



近隣事業所の方々にも参加いただいています。

4. 身近に歴史や文化に親しむ機会を 提供します。

「出前授業」

歴史学習や身近な地域学習の出前授業を行っています。岩沼市内の遺跡で発掘された土器や市民から寄贈いただいた民具に触れてもらい、主体的・対話的な学びのきっかけづくりを提供しています。

【事業利用回数】 ○延べ 17回



(土器の観察学習の様子)

～遺跡発掘調査～ (原遺跡)

遺跡地等における各種開発工事の際に、文化財の記録保存を目的とした発掘調査を行っています。



須恵器 坏 底面外面 墨書
(底部中央に「方」と記されている)

岩沼市南長谷にある原遺跡は、全国的にも例が少ない古代の駅家(うまや)の可能性のある遺跡として注目を集めています。平成29年度の2次調査では、円面硯(えんめんけん)のほか、文字を記す役人がいたことを示す墨書土器などが見つかりました。

市民に求められる取組の例
(一人ひとりが取り組みましょう)

- 公園や街路樹など身近な緑を大切にしましょう。
- 地域の清掃活動、美化活動に積極的に参加しましょう。
- 地域の歴史や文化、伝統行事への関心と理解を深めましょう。

■ 基本目標2 豊かな自然環境の保全

森林や河川など豊かな自然環境や農地などの緑地、それを基盤とする生態系を適正に保護・保全することにより、「豊かな自然環境の保全」を目指します。

1. 自然とふれあいながら里山の保全と活用を図ります。

市民の貴重な財産“グリーンピア岩沼”

西部の丘陵部は宮城県の緑地環境保全地域に指定され、その中のグリーンピア岩沼には、散策路が整備され、四季を通して貴重な自然にふれることができます。

～市民協働の里山保全～

市民活動団体の「グリーンピア森の散策会」、「いわねま森のサポーター」との協働による散策路の巡回、ごみ拾い、案内板や樹木の名札の取り付けなど、里山の保全、散策路の整備が進められています。

～ニホンカナヘビとのふれあい事業～

グリーンピア岩沼では、身近な生き物への理解を深める機会を提供するため、平成29年度には、ニホンカナヘビふれあいイベントを実施しました。周辺に生息するニホンカナヘビを間近で観察し、エサやり体験を楽しみました。



〔グリーンピア岩沼のニホンカナヘビ〕

【自然にふれるイベント開催回数】 53回〔平成29年度〕

3. 農林業への興味・関心を高めます。

市では、農地や森林への興味や関心を高めるため、生産者と消費者を結ぶ事業や子どもたちへの食育の機会を提供する事業を実施しています。

～市民農園事業～

体験農園の無料貸出しやサツマイモの収穫体験、料理教室などを実施しています。



〔写真：サツマイモ収穫体験〕

【農園貸出数】

○ 54区画〔平成29年度〕

【参加者数（収穫体験・料理教室）】

○ 15名（小学生）〔平成29年度〕



〔写真：秋の収穫祭の様子〕

～農産物直売所～

ハナトピア岩沼では毎週土、日曜日に農産物直売所「ハッピー旬の市」が開かれています。また毎年11月には「秋の収穫祭」が開催され、多くの人で賑わっています。

2. 多面的機能を有する農地の保全 ～農地水環境保全活動の取組を支援～

多面的機能を有する農地を保全しています。

市では多面的機能支払交付金事業を実施し、地域集落の農業者、地域住民、老人会、子ども会等のさまざまな組織が参加して行われる農地水環境保全活動の取組を支援しています。



【参加地区数】

○ 15地区〔平成29年度〕

〔写真：長谷釜集落資源保全隊の活動の様子（景観形成・植栽事業）〕

～松食い虫防除事業～ 【平成29年度 162本】

市では、地域の重要な松林を保全し、森林資源の保護育成を図るため、松食い虫の防除事業を推進しています。

本市の総面積における田・畑、及び山林の面積
〔平成29年度・総面積6,045ha〕

【田・畑】 1, 891ha (31.3%)

【山林】 1, 130ha (18.7%)

河川等の水質保全へ向けた活動を行います。

「阿武隈川サミット」などの

広報・啓発事業に協力しています。

～阿武隈川サミット
フォトコンテスト～
阿武隈川に親しみを持ってもらうため毎年コンテストを開催しています。

最優秀賞「爽やかな涼風」 →
菊地美雄 様



〔市民図書館エントランスホールでの
図画・ポスター展示の様子〕

～川をきれいにする 児童図画・ポスター展～

阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会では、川の水質保全をテーマにした作品を募集しています。（平成29年度は、7名の市内小学生の作品が表彰・入選しました。）

～「荒井堤」の水質浄化事業に取組みます～

朝日山公園内にある荒井堤は、園内の生態系維持や降雨時の調整池機能など重要な役割を果たしています。近年水質の悪化が著しい状態となっていることから、平成30年度から水質改善へ向けた各種取組を進めていきます。

市民に求められる取組の例 （一人ひとりが取り組みましょう）

- 身近な自然環境や生き物に関心を持ちましょう。
- 農地や農業に理解を深め、地場産品食材の利用に努めましょう。
- 飼えなくなったペットなどを野外に放さないように心がけましょう。

■ 基本目標3 安全な生活環境の確保

大気や水など私たちを取り巻く生活環境を良好な状態に維持することにより、「安全な生活環境の確保」を目指します。

1. 低公害車の展示イベントを実施し、普及啓発を図りました。

～ 水素エネルギーをもっと身近に ～

水素自動車の展示イベントを開催しました

市では、大気汚染物質の排出が少なく、環境への負荷が少ない自動車の普及啓発に努めています。環境負荷の少ない「水素自動車」の展示イベントを開催し、非常時の電源にもなる次世代の低公害車に関心を持っていただきました。



〔上写真：ハナトピア岩沼「秋の収穫祭」での展示イベント。展示車は、TOYOTA MIRAI〕

○市では電気自動車の積極的な導入に努めています
平成29年度では電気自動車を2台導入しています。

3. 水環境の保全へ向けた取組 「全ての測定地点で環境基準に適合」

【公共用水域での水質測定】

市内4地点（五間堀川3地点、南貞山運河・赤江橋1地点）で、水質の定期測定を行い、河川環境の保全に努めています。

項目	環境基準	宝 橋	三叉水門	分派水門	赤江橋
pH	6.5～8.5	7.4 (7.2～7.7)	7.6 (7.2～7.9)	7.5 (7.3～7.7)	7.3 (6.9～7.5)
DO	5mg/以上	9.7 (6.2～13)	10.3 (7.2～14)	9.9 (7.1～13)	8.7 (6.9～12)
BOD	5mg/以下 〔75%値〕	1.3 (0.8～1.6)	1.5 (0.8～1.7)	1.3 (0.8～2)	1.7 (0.6～2.3)
SS	50mg/以下	12.3 (3～22)	9.6 (3～15)	13.5 (4～35)	18.8 (7～43)

（上段：平均値、下段：最小値～最大値）

【BOD】：水質汚濁の代表的な指標で、水中の有機汚濁物質を分解するために微生物が必要とする酸素の量。値が大きいほど水質汚濁が著しいことを示す。

【参 考】：公共下水道の普及率 92.19%〔平成29年度〕

【水質汚濁事故を防止するために】

油の流出等の水質事故が発生した際には、関係機関と協力しながら、被害を最小限にとどめることができるよう対応に努めています。

事故の大半は給油作業の不注意によるもので、家庭や事業場では、油の取扱いに十分に注意して河川の水質汚濁をなくしましょう。
○水質汚濁事故通報件数：4件（平成29年度・前年度比3件減）

市民に求められる取組の例
（一人ひとりが取り組みましょう）

- マイカーの利用自粛や公共交通機関の利用を心掛けましょう。
- 水環境への理解を深め、河川や海を汚さないように努めましょう。
- 自宅において不適正なごみの焼却処理を行わないようにしましょう。

2. 自動車騒音・航空機騒音の監視に努めています。

【自動車騒音の測定】一部環境基準値を超過した地域がありました。

調査地点	昼間 (6:00～22:00)		夜間 (22:00～6:00)	
	道路近傍騒音	残留騒音	道路近傍騒音	残留騒音
一般国道4号 〔29年度〕	73	44	71	37

※騒音値はすべて等価騒音レベル（LAeq〔dB〕）

○道路近傍騒音環境基準：〔昼間70dB、夜間65dB〕、自動車の騒音限度〔昼間75dB、夜間70dB〕 ○残留騒音環境基準（一般地域）：A及びB類型〔昼間55dB、夜間45dB〕、C類型〔昼間60dB、夜間50dB〕（一般国道4号はB類型）

【航空機騒音の監視】

基準値57dBを超過した地点はありませんでした。

固定局（年間常時監視）の結果

名 称	Lden	最大騒音レベル	平均発生回数（回/日）
梶 橋	49.7	89.6	45.9
相の原	48.2	85.1	29.2
矢野目	55.3	90.6	66.5
末 広	47.9	97.4	34.9

※基準値…I類型：57dB、II類型：62dB

※宮城県環境基準の地域の類型をあてはめる地域は、本市ではI類型の地域はなく、II類型の地域に空港周辺の一部が指定されています。本市の測定地点は全てII類型の地域の外側にあります。

その他、移動局7地点、臨時局2地点の測定でも基準超過はありませんでした。

4. 市民の不安を払拭するため放射能・線量測定を計画的に行っています。

【市内各地の空間放射線量の測定】

市内全25地点で空間放射線量の測定を行い、継続して推移の把握に努めています。平成29年度において、基準値0.23μSv/hを超過する地点はありませんでした。

主な測定地点での空間放射線量

	測定地点	6月	9月	12月	3月
1	岩沼市役所（高さ50cm）	0.05	0.04	0.05	0.05
2	岩沼市役所（高さ1m）	0.05	0.04	0.04	0.04
3	グリーンピア岩沼	0.07	0.07	0.08	0.06
4	朝日山公園	0.09	0.07	0.08	0.08
5	里の杜公園	0.09	0.08	0.08	0.08

単位：マイクロシーベルト毎時（μSv/h）

○測定結果は、各測定箇所における月の最終測定日の値

○その他各小中学校、保育所（園）でも測定を行っています。

【一般食品、学校・保育所等給食の放射能濃度測定】

一般の方から持ち込みのあった食品の測定や、学校や保育所等で出される給食の定期測定を行い、食品中の放射能濃度のチェックを継続しています。

平成29年度で、基準値を超過したものはありません。

【測定件数】

- 一般食品 13件
- 小中学校給食 172件
- 保育所（園）給食 271件



基準値超過 0件
（基準値：CS合計100Bq/kg）

基本目標4 循環型社会の構築

ごみの発生抑制や再生可能なものの活用、資源の再利用・再生利用といった循環的な利用を進めることにより、「循環型社会の構築」を目指します。

1. 家庭からのごみ減量を進めています。 (1人1日当たり870gを目指して)

平成29年度は前年より排出量が増加しました。家庭ごみの減量と分別徹底に努めましょう。

【岩沼市民1人1日当たりのごみ排出量 (g/人・日)】



更なるごみ減量に向けて、家庭からの取組をお願いします。

※1人1日100gの減量に取り組みましょう。

■「100g」は、卵2個分に相当します。家庭の生ごみの80%は水分です。水を切るだけでごみ減量になります。

○岩沼市のごみ排出量・構成比(平成29年度) (総収集量:前年比74t増)

区分	可燃ごみ		資源		その他		総収集量
	家庭系	事業系	家庭系	事業系	家庭系	事業系	
重量(t)	8,682	3,903	1,917	39	690	84	15,315
比率	56.7%	25.5%	12.5%	0.3%	4.5%	0.5%	100.0%

3. 地域のリサイクル運動への支援 (ごみ減量・資源有効利用の取組)

ごみの減量化と資源の有効利用を促進し、地域のコミュニティづくりの推進を図ることを目的に、リサイクル運動を行う市内の団体に回収量に応じた報償金を交付して活動を支援しています。

～リサイクル運動の実施状況～
(平成29年度)

- 資源回収量 381.3 t
(紙類376.6t 布類1.1t 金属類2.5t びん類1.1t)
- 報償金額 1,143,903 円

資源の回収量が近年減少傾向にあります。地域の集団資源回収にご協力をお願いします。



【リサイクル運動の実施状況と登録団体数の推移】

年度	25	26	27	28	29
回収量(kg)	541,709	511,259	481,147	442,205	381,301
(紙類)	533,110	504,555	475,198	437,290	376,572
(布類)	1,942	1,310	974	940	1,116
(金属類)	3,059	2,905	2,856	2,517	2,502
(びん類)	3,598	2,489	2,119	1,458	1,111
登録団体数	55	53	54	55	51

2. 生ごみの減量化・資源化への啓発に努めています。

～生ごみ処理容器等設置補助制度～

岩沼市のごみ排出量の約6割は家庭から出される「可燃ごみ」となっています。市では、この「可燃ごみ」における「生ごみ」の減量化・資源化を図るために、生ごみ処理容器等の購入費用に対する補助制度を実施しています。

【補助金活用件数】

- 14基(うち電気式9基)(平成29年度)

☆☆☆補助制度について☆☆☆

- 電気式生ごみ処理機
購入価格の2分の1以内で上限が30,000円。
- コンポスト
購入価格の2分の1以内で上限が3,000円。コンポストは1世帯につき2基まで補助を受けることができます。

「ゆずりあい情報」をご存じですか？

毎月、広報いわぬまのリサイクル情報コーナー「ゆずりあい」に、家庭で眠っている品物や捨てるにはまだもったいないというような品物の情報を掲載しています。情報を見て、欲しい品物や譲ってあげたい品物があった場合には、当事者間の話し合いにより譲り合うことができます。

4. ごみ減量化・リサイクル推進の取組 (使用済小型家電のイベント回収)

平成28年度に岩沼市公衆衛生組合連合会が実施した山形県内の地域リサイクル事業者への視察研修や環境学習会で学んだことを参考にし、平成29年度から新たに、家庭で眠ったままになっている使用済小型家電の回収イベントを開催しました。希少金属が含まれる使用済小型家電の効率的な回収に向け、パソコンや携帯電話などの通信機器を対象に、6月と11月の2回、市役所駐車場を会場に実施しました。

イベントでの回収量

実施	数量(kg)	来場者概数(人)
29年度(合計)	6,591	470
6月	4,281	310
11月	2,310	160



(公衛連、回収事業者との集合写真)

市民に求められる取組の例 (一人ひとり取り組みましょう)

- ごみの正しい出し方・分別を徹底し、減量化・資源化に努めましょう。
- 地域の集団資源回収活動に積極的に参加しましょう。
- 家庭だけでなく、職場や学校でも3R運動の取組を実践しましょう。

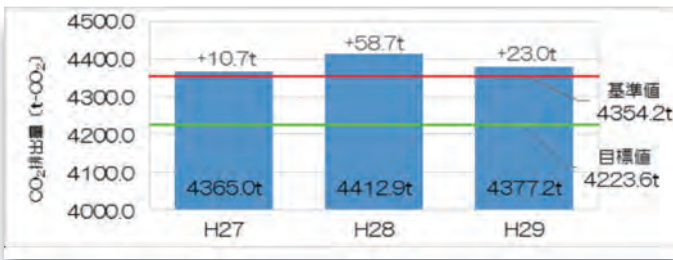
■ 基本目標5 地球環境問題への貢献

日常生活や事業活動を見直し、省エネルギーの実践や再生可能エネルギーの導入の検討など、低炭素社会の実現に向けた取組を進めることにより、「地球環境問題への貢献」を目指します。

1. CO₂排出量削減の取組を進めています。 (地球温暖化対策実行計画 第3期)

【岩沼市地球温暖化対策実行計画】

市では、市役所という1事業所としての立場から、公共施設のCO₂排出量削減を推進するため、計画に基づく各種取組を行っています。平成28年3月には第3期計画を策定し、公共施設への再生可能エネルギー設備の導入や省エネ機器への切替えなどに加え、照明や事務機器等の節電など、率先してCO₂排出量削減の取組に努めています。



【平成29年度の取組の結果】

基準値（基準年度〔=平成26年度〕総排出量に第2期計画で対象外であった施設を加えた総排出量）と比較して0.5%（32.0t）の増加率となりました。計画的な環境配慮型照明への転換に加え、日常の取組の一層の対策強化に努める必要があります。

3. 太陽光発電システム設備導入費用への補助を行っています。

○住宅用太陽光発電システム設置補助制度

市では、環境負荷の少ない循環型社会の構築に向け、市民の意識高揚及びクリーンエネルギーの普及を図るため、住宅用太陽光発電システムを設置する方への補助制度を設けて再生可能エネルギーの導入促進を図っています。

【補助・導入実績】

○導入累計 525 件〔合計出力2,354.2kW〕
〔平成21年度～平成29年度〕

～再生可能エネルギーの導入促進～

沿岸部では風力発電所が稼働しています。



押分字須加原の風力発電所（高さ24m、風車2基、計約19.6kW、産電工業株式会社）クリーンなエネルギーを生み出す事業として被災地の有効活用を図っています。

2. 環境にやさしい行動を心がけましょう

市では、市民バスなどの公共交通機関の利用を呼びかけ、二酸化炭素排出量の抑制を推進しています。

市民バス年間利用者数

【平成29年度】

約14万人



【平成33年度（目標値）】

16万人

“行き先”や“目的”に応じて自家用車と公共交通を使い分けることも、環境にやさしい行動です。

○市民バスを利用しましょう！



【市では防犯灯LED化の促進に努めています】

市では、平成28～31年度の4年間で、LED防犯灯の新設または切り替え費用の一部に補助金を交付し、省エネ・CO₂排出量抑制を図っています。

○導入灯数 524 灯（新設含む）〔平成29年度〕

4. 「みやぎ環境交付金事業」を活用して環境配慮型照明への改修を進めています。

「平成28年度からは、小・中学校体育館の照明器具を、環境配慮型の照明器具に切替えています。」

総事業費32,000,000円、CO₂排出削減効果として35,200kg-CO₂を見込んでいます。

年度	実施内容	削減効果
平成28年度	岩沼西中学校屋内運動場照明LED化改修事業（50台）	7,322 kg-CO ₂
平成29年度	玉浦中学校屋内運動場照明LED化改修事業	10,868 kg-CO ₂

その他公共施設や公園等屋外照明においても環境配慮型照明器具の積極的な導入を行いました。

事業名称	事業年度	削減効果
公共施設等環境配慮型照明器具改修	平成23年度～平成28年度	67,543 kg-CO ₂
公園等屋外照明改修	平成23年度～平成27年度	17,430 kg-CO ₂

市民に求められる取組の例 (一人ひとりが取り組みましょう)

- 買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋の消費を減らしましょう。
- 家庭での省エネルギーやエコドライブを実践しましょう。
- 太陽光発電などの再生可能エネルギーを活用しましょう。

■ 基本目標6 環境共生社会の醸成

市・市民・事業者の全ての主体が、環境について理解を深め、環境に配慮した行動を実践することにより、「環境共生社会の醸成」を目指します。

1. 次世代を担う子どもたちへ 市民との協働による環境学習

～里山が持つ役割と魅力、

そして人との関わりなどを体験～

グリーンピア岩沼において、自然のすばらしさを学ぶ里山体験学習を行っています。自然に親しむという観点から、身近な生物、植物を観察します。市内4小学校の5年生を対象に、市民活動団体の協力を得て、地域との協働により環境学習が実施されています。〔平成29年度〕

～保育所での野菜作り～

身近な自然や食に対する関心を高めるため、公立の4保育所においてプランターや花壇で野菜作りを行っています。

収穫した野菜は給食として味わったり、スタンプ遊びに利用したりしました。

〔写真：野菜作りの様子（平成29年度）〕

〔栽培した野菜〕

- トマト ○オクラ
- キュウリ ○ナス
- ジャガイモ など



2. 環境学習会に参加しよう (学びを地域で共有し、実践につなげています。)

～循環型社会を目指して先進事例を学ぶ～

市では、地域活動に活かしていただくため、地域のごみ分別の徹底といった身近な取組や、県内外の環境保全に関わる先進事例等を学ぶ「環境学習会」「視察見学会」等を実施しています。



～「生ごみ」から
バイオガスと液肥を製造～

- アマタ(株)・南三陸BIO視察
- 参加者数：18名
- 〔平成29年度〕

〔左写真：南三陸町での視察の様子〕

～環境に配慮した
事業活動～

- 東洋ゴム工業(株)
仙台工場 見学
- 参加者数：29名
- 〔平成29年度〕



参加した皆さんは、環境学習会等で学んだことを、地域の一人ひとりの取組に活かしています。

3. 地域清掃への参加を呼びかけ、 環境美化活動を推進しています。

～ごみのない美しいまちづくりを目指して～
市民総参加の「早朝クリーンいわぬま」

- 参加者数 9,394人〔平成29年度〕

春と秋の年2回、環境美化市民行動の日を設定し、町内会や事業所などへ地域ぐるみの参加を呼びかけて市内一斉清掃活動を実施しています。地域活動として定着し、事業所の参加者数も年々増加傾向にあります。

【主な活動内容】

- 居住地周辺の清掃、ごみの回収
- 公園緑地、水辺の清掃 など



※市では地域の自主的な清掃活動へ「地域清掃用ごみ袋」の提供を行っています。

4. 自主的な環境保全活動を支援 関心のある市民の参加を呼びかけています。

～市民みんながエコパートナーを目指して～

地域の清掃活動や環境美化といった活動を活性化するため、主体的に活動できる人材を育成するとともに、市・市民・事業者が情報を共有して意見交換ができる仕組みづくりや、活動団体間のネットワークづくりを推進します。

家庭や地域で環境問題を考える“きっかけ”を提供

買い物にはバッグを持参しよう
「エコバッグペイント事業」

児童館や公民館にて出前講座を開催

- 参加者数：320名
- 〔平成29年度〕



「地球温暖化防止啓発ポスター表彰式・展示会」

～市内小中学生対象～

- 応募作品：31点〔平成29年度〕



市民に求められる取組の例
(一人ひとりが取り組みましょう)

- 地域や職場、学校などの環境活動や環境学習に参加しましょう。
- 環境問題に関心を持ち、家族で話し合う機会をつくりましょう。
- 自治会や地域コミュニティ組織の活動に積極的に参加しましょう。

■重点取り組みの紹介 「もったいない！ごみ減量化」岩沼環境プロジェクト
新ごみ処理施設の稼動を契機として、ごみの分別徹底と排出抑制に向けた
市民意識の啓発を進めています。

身近なところから「ごみの減量化・資源化」を始めましょう！

○「ごみの分け方と出し方」を再チェックしましょう！

家庭や事業所から出される「燃えるごみ」の約6割は、「紙類」や「プラスチック類」となっています。これらの中には、**分別すれば資源化できる**可能性のあるものが多く含まれています。正しく分別すれば資源となり、燃えるごみの量も減らせることになります。

■燃えるごみの組成割合 **紙類 35.4%、プラスチック類 27.1%**
〔平成29年度岩沼東部環境センターごみ質検査結果〕

○水分の多い「生ごみ」を減らしましょう！

生ごみの**約80%は水分**です。生ごみを減らすことは、ごみ重量の減少につながるほか、臭いの抑制や集積所のカラス対策にもなることに加えて、ごみ運搬やごみ焼却の効率もよくなります。生ごみを出さないために、調理方法を工夫したりすることなども大切です。

燃えるごみに出すときは、しっかりと「水切り」をしましょう。

～ごみ処理容器等購入補助金を活用ください～

市では、生ごみを家庭で堆肥することや乾燥させて重量を減らすことを勧めています。コンポストや電気式処理機の購入に補助金を交付していますので、ご活用ください。

できることから「食品ロス」の削減に取り組みましょう！

「食品ロス」とは、家庭や飲食店での食べ残しなどで捨てられてしまう食品のことです。食品の製造、流通過程でも発生します。

1年間に国内で発生する「食品ロス」は621万トン（うち家庭からの排出は282万トン）で、この量を国民1人当たりで換算すると、**1日134グラム（茶わん1膳分のご飯に相当）**の食品を毎日、**食べずに捨てている**ことになります（平成26年度農林水産省推計）。

私たちの日常生活からは、大量の「食品ロス」が発生しており、大きな課題となっています。一人一人が「もったいない」の気持ちを持って、身近なことから「食品ロス」の削減に取り組みましょう。



○家庭で「食品ロス」を削減するために

- ・食材を買いすぎず、使いきるようにしましょう
- ・期限表示の早いものから使用しましょう
- ・料理は食べられる量だけつくるように心掛けましょう
- ・外食では「3010運動」を実践しましょう

“3010運動”とは

“3010運動”とは食べ残しを減らすための運動で、宴会の乾杯後**30**分間、お開き**10**分前は料理を楽しむことで「食品ロス」の削減を目指す運動です。

重点取り組みの紹介 市民活動団体の紹介

岩沼市内で主体的に環境保全活動をしている市民団体の中から、一部の団体をご紹介します。
「岩沼環境プロジェクト ～市民みんながエコパートナー～」にも取り組みます。

さまざまな自主取組が積極的に行われています！

二木第一町内会

二木第一町内会では、地区内でのアルミ缶の回収事業を実施しています。

年3回、約20名の参加者で各世帯を回って収集するほか、週1回、指定の収集場所への個別の持込みにより回収を行っています。

活動による収入は地域の防災用具の購入や各世帯にごみ袋を配布することで還元しています。

活動が評価され、平成30年度にはアルミ缶リサイクル協会より「2018年アルミ缶一般回収協力者」として優秀賞を受賞されました。



グリーンピア森の散策会

グリーンピア岩沼の散策路の四季折々の風景を楽しむと共に、自然保護活動に努めている団体です。

約57名の会員が加入しており、定例の巡回散策や保護・保全活動、小学校里山体験学習の支援や市民観察会を随時開催しています。

平成29年度で開催したイベントには延べ600人以上の方が参加されました。

また、貴重な自然を次世代に伝えるため、山野草の観察記録を基に、グリーンピア岩沼の自然散策ガイド「四季の山野草」を制作し里山の楽しみ方を紹介しています。



丘サポ・いわぬま

千年希望の丘での植樹・育樹（除草）や、ごみ拾いなどを行い、震災公園の環境美化活動を行っている団体です。植樹や育樹等の指導や案内も行っています。

平成29年度は8回活動を行い、計67名が参加しました。

メンバーには山や植物など自然が好きな人が多く、みんなで意見交換をしながら、千年希望の丘を守り維持するための活動を楽しんでいます。

活動を見かけましたら、気軽にお声掛けください。



ごみゼロ岩沼

ごみゼロのきれいなまちを目指し、「ポイ捨てやめよう」「町をきれいに」を市民に呼びかけ、毎月第2日曜日に清掃活動をしている団体です。

現在、市民の参加も増えてきており、また各種団体からの助成や寄付をいただける等、活動への理解が深まり、輪が広がってきています。

平成29年度では計9回のごみ拾い活動を実施しました。平成29年6月には活動50回目を迎え、これまでの活動を称え、岩沼市公衆衛生組合連合会から表彰され、感謝状が贈られました。



■平成30年度の取組の紹介

平成29年度から開始した小型家電リサイクル事業を継続して、貴金属の効率的なリサイクルを推進します。

○リサイクル工程を確認 「使用済小型家電」再資源化を推進しています。

岩沼市公衆衛生組合連合会では、**希少金属が含まれる使用済小型家電**の効率的な回収に向けて取組を進めています。平成28年度ではリサイクル業者への視察研修を行い、その内容を参考にして平成29年度にパソコンや携帯電話などの通信機器を対象として、年2回、市役所駐車場を会場に**小型家電の回収イベント**を開催しました。平成30年度においても回収品目を拡大してイベントを継続しました。また、平成30年度では回収した金属を、**新たな資源に精錬**する企業（秋田県小坂町）を視察し処理工程を確認しました。回収イベントで集められた使用済小型家電が「金属に生まれ変わる」実際の工程をたどり、改めて取組の重要性を確認しました。



〔平成30年度視察研修の様子〕



〔公衛連、回収事業者の集合写真〕

小型家電回収事業は、市と岩沼市公衆衛生組合連合会との協働により開催されています。

家電製品の中には、**鉄・アルミ・金・銀・銅・レアメタル**といった希少な金属が使用されています。粗大ごみとして廃棄されたり、家庭で眠ったままになっているごみの減量、金属資源の有効活用のため、次年度以降も小型家電製品の回収を継続していきます。限りある資源のリサイクルのためにも、市民の皆様のご協力をお願いします。

イベントでの回収量

実施日	数量 (kg)	来場者概数 (人)
29年度 (合計)	6,591	470
6月	4,281	310
11月	2,310	160
30年度 (合計)	6,810	410
6月	3,060	190
11月	3,750	220

岩沼市は、東京2020公認プログラム

「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に協力しています！

「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」とは？

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の約5,000個の金・銀・銅メダルを全国各地から集めたリサイクル金属で作る国民参画型プロジェクトで、東京2020大会をきっかけに、持続可能社会の仕組みを作る取り組みです。（主催：東京2020組織委員会）



都市鉱山とは？

使用済みとなった携帯電話・パソコン等の小型家電には、多くの有用な資源（金・銀・銅やレアメタル等）が含まれており、これらの資源を「都市鉱山」と呼んでいます。

日本の各家庭に保管される小型家電の中には、世界有数の天然鉱山規模の資源が眠っているとされています。

メダルプロジェクトは平成31年3月31日（日）に終了となりますが、岩沼市ではプロジェクト終了後も使用済み小型家電回収を継続していきますので引き続きご協力をお願いします。

■ 岩沼市のエコ・環境衛生関連補助制度

市では、環境に優しい取組等を支援するために、様々な補助制度を設けています。積極的にご活用ください。

岩沼市浄化槽設置整備事業補助金

浄化槽を設置する個人に対して補助金を交付し、生活雑排水による公共用水域の水質汚濁の防止を進めています。

補助対象…浄化槽設置整備事業の補助対象地域内で一般住宅に合併処理浄化槽を設置する個人

補助金額…人槽ごとに補助金額が異なります（住宅の床面積などにより人槽が決まります）。

5人槽 = 332,000円、6～7人槽 = 414,000円、8～10人槽 = 548,000円

岩沼市ごみ集積箱等設置事業補助金

町内会で集積箱（小屋なども含む）を購入・設置する場合に補助金を交付し、ごみ集積所周辺の、環境衛生の向上を図っています。

補助金額…購入金額の2分の1 上限50,000円

岩沼市生ごみ処理容器等設置補助金

電気式生ごみ処理機や生ごみ処理容器（コンポスト）を購入し、家庭から出る生ごみを堆肥化する世帯に向けて、購入金額の一部を補助する制度を設け、ごみ減量の促進を行っています。

補助対象…市内在住で家庭から出る生ごみの減量化に協力していただける世帯。但し、同じ年度内に2つの補助を重複して受けることはできません。

補助金額…電気式生ごみ処理機 購入価格の2分の1以内（上限30,000円）

コンポスト 購入価格の2分の1以内（上限3,000円）

※コンポストは1世帯につき2基まで補助を受けることができます。

岩沼市リサイクル運動報償金制度

資源物の回収を実施した登録団体に対し回収量に応じた報償金を交付して、ごみの減量化とリサイクル意識の向上を図っています。

報償金額…資源物1kgにつき3円

岩沼市単位公衆衛生組合ミスト機購入補助

単位公衆衛生組合のミスト機の購入に要する費用に補助金を交付し、地域の公衆衛生の向上を図っています。

補助金額…購入金額の2分の1（上限4万円）

岩沼市住宅用太陽光発電システム設置補助

環境負荷の少ない循環型社会の構築に向け、市民の環境に対する意識の高揚及びクリーンエネルギーの普及を図るため、住宅用太陽光発電システムを設置する方に対し補助金を交付しています。

補助金額…1kWあたり20,000円 最大80,000円



補助対象者…自ら居住する住宅に太陽光発電システムを設置する個人

対象システム…低圧太陽光発電設備系統連系余剰電力売電契約を結ぶもの（発電された余剰電力を電力会社に売電できるもの）で、最大出力10kW未満の未使用のシステムが対象となります。

■ 岩沼市環境基本計画の進捗評価



岩沼市環境基本計画では、環境像の実現に向けて6つの基本目標ごとに環境指標を設定して、目標の達成状況を把握することとしています。必要に応じて適切な見直しにつなげられるようPDCAサイクルの流れを確立して、継続的に計画の進行管理を進めることとしています。

1. 快適な環境の創造



【環境指標】 市民一人当たりの公園面積 ※18㎡【増加】 [平成26年度：11.4㎡/人] ※「公園」とは、都市公園法上の都市公園を指す。	現況値 16.9㎡ 【28年度：16.9㎡】	
【環境指標】 花や木のまちづくり団体数 70団体【増加】 [平成27年度：60団体]	現況値 59団体 【28年度：62団体】	

環境指標「花や木のまちづくり団体数」は、活動団体数が減少しており進捗の度合は下がったものの、「身近な緑」、「景観」、「歴史・文化」の各環境分野では概ね順調に、継続的な取組が実施されており、基本目標の評価としては、全般的に各取組は良好に進捗しています。



2. 豊かな自然環境の保全

【環境指標】 山林の面積 1,130ha【維持】 [平成26年度：山林1,130ha]（現状維持を目指す。ただし公共事業による減少は除く。）	現況値 1,130ha 【28年度：1,125ha】	
【環境指標】 グリーンピア岩沼の自然にふれるイベント数 55回【増加】 [平成26年度：52回（里山散策、自然観察会など）]	現況値 53回 【28年度：56回】	

3. 安全な生活環境の確保


【環境指標】 河川BOD環境基準の達成度 100%【維持】 [平成26年度100%：五間堀川・貞山堀川 水質測定]	現況値 100% 【28年度：100%】	
【環境指標】 公共下水道の普及率 93%【増加】 [平成26年度：90.7%]	現況値 92.19% 【28年度：91.49%】	

4. 循環型社会の構築

【環境指標】 一人1日当たりのごみ排出量 870g/人日【減少】 [平成26年度：956g/人日]	現況値 949g 【28年度：942g】	
【環境指標】 リサイクル登録団体数 80団体【増加】 [平成26年度：53団体]	現況値 51団体 【28年度：55団体】	


ごみ排出量が微増傾向にあるとともに、リサイクル登録団体数も減少していることから環境指標は2項目とも進捗の度合が低い状況です。ごみの減量や分別徹底、地域リサイクルの推進など、3R行動の実践に向けた地域や家庭での更なる取組が必要です。なお、環境分野ごとの取組では「廃棄物」の分野において継続的な取組が順調に実施されています。

5. 地球環境問題への貢献

【環境指標】 環境配慮型事業者の認定数 40件【新規】 [認定制度を新規事業として創設]	現況値（未実施）	—
【環境指標】 市民バス年間利用者数 16万人【増加】 [平成26年度：142,910人]	現況値 135,453人 【28年度：139,565人】	

環境指標「市民バス年間利用者数」は、バス利用者が年々減少傾向にあり、進捗の度合が低い状況です。公共交通の利用など地球温暖化や環境対策につながる身近な取組を推進します。基本目標の評価としては低評価の取組があることから、取組強化が必要です。

6. 環境共生社会の醸成

【環境指標】 環境保全活動団体登録数 25団体【新規】 [登録制度を新規事業として創設]	現況値（未実施）	—
【環境指標】 「早朝クリーンいわぬま」の参加者数 1万人【増加】 [平成26年度：4,050人（6月）、3,549人（9月）]	現況値 9,394人 【28年度：9,424人】	



年度目標値を上回る



年度目標値の達成度 80%以上



年度目標値の達成度 80%未満

○環境測定等の結果など詳細な情報はホームページから閲覧できます。
<https://www.city.iwanuma.miyagi.jp/kurashi/kankyo-eisei/kankyo-eisei/iwanuma-no-kankyou.html>
※温暖化防止へ向けた取組の結果については個別に紹介しています。
<https://www.city.iwanuma.miyagi.jp/kurashi/kankyo-eisei/kankyo-eisei/ondanka.html>

【問い合わせ先】

編集・発行 岩沼市市民経済部生活環境課
TEL：0223-22-1111（内線 333・335）